

年 組 名前:

ころ柿の産地 猛暑被害 甲州 収穫4割減の農家も



葉や実が付いていない柿の木
— 甲州市塩山三日市場

ころ柿の産地として知られる甲州市塩山松里地区で、「甲州百目柿」の落果などの被害が出ている。猛暑や雨の量が少なかったことが原因とみられる。収穫量が4割程度減少する農家もあり、「収入の柱の一つ。影響はある」と肩を落とす。

J Aフルーツ山梨が10月18日に実施した調査によると、今年の着果率は平年並みの92%。収穫量は昨年並みの63%を見込む。

ただ同地区の農家の畑では、葉が少なくなる落葉病や落果の被害が出ている。同市塩山三日市場の竹田周太郎さん(47)の約15坪の畑では、落葉病によりほとんど実が付かない木や落果がみられる。例年は2トほど収穫できる

が、今年は4割減の見込みという。竹田さんは「防除対策も申し分なくしてきた。収穫量が減るのは収入にも影響があり残念」と話す。同JAは「高温や、7、9月に雨が少なかったことなどが原因ではないか」との見方を示した。

〈土屋真佑子〉

(2024年11月8日付 山梨日日新聞 22面)

問1

甲州市塩山松里地区で、柿の落果などの被害が出ています。その原因を教えてください。

.....

問2

竹田さんの畑では、今年の収穫量を何トンと考えていますか。

.....トン

問3

笛吹市では、出荷が遅れた柿があります。その品種を教えてください。

.....